

<事業名> 豊岡まちなみゼミ豊岡大会

団体名	豊岡まち塾
所在地	豊岡市大手町
代表者名	塾長 朝 日 健 司

事業内容	<p>豊岡まちなみゼミ豊岡大会（豊岡中心市街地大会）を6月17日（日曜日）に開催した。</p> <p>午前中は、Aコースとして豊岡市街地のまち歩き、Bコースとして旧円山川の廃川カヌーを実施した。その後、北但大震災（北但馬地震）から復興の過程で建設された震災復興建築の一つである非公開施設を見学した。</p> <p>午後からは、神戸芸術工科大学教授 西村幸夫氏から「豊岡まちなみゼミに寄せて」というタイトルで基調講演を拝聴し、その後、午前中に見学した震災復興建築の利活用を中心に、中尾嘉孝氏のファシリテーションにより、グループに分かれてワークショップを行った。</p> <p>大会前および大会後には、豊岡まち塾のメンバーを中心に会議や打ち合わせを繰り返して、準備や反省、そして来年度以降の活動に向けて検討を行った。</p>	
地域	豊岡市（参加者は県内をはじめとして全国各地から）	
事業の効果	<p><b>①団体（組織）内の効果</b></p> <p>豊岡まち塾としては、毎年のようにイベントを始めとした各種の事業を行ってきているが、大きな大会を開催することによって、学識者から意見や提言をいただき、ワークショップでの提案をもらうことによって、中心市街地に数多くある震災復興建築をどう利活用していくのか、まちづくりにどう活かしていくのかについて、今後の活動の方向性を示唆していただけたと思う。</p> <p><b>②地域への効果</b></p> <p>豊岡中心市街地には空き家や空き店舗が増加してきており、まちなみを寂れさせてきている。地域住民が今回の事業に参加し、また我々が少しでも役に立てるような提案をすることによって、それらが少しでも解消されるきっかけになるのではないだろうか。</p>	
事業経過	年 月 日	
	30年4月25日	豊岡まちなみ連盟への参加依頼
	30年5月17日	打ち合わせ
	30年5月29日	豊岡まちなみ連盟への協力依頼
	30年6月7日	打ち合わせ
	30年6月14日	打ち合わせ
	30年6月15日	準備
	30年6月16日	準備
	30年6月17日	当日
	30年7月4日	反省会
	30年9月11日	実績報告会および次年度に向けて

<p>協働の 相手方</p>	<p>豊岡まちなみ連盟を構成する団体（城崎温泉町並みの会・出石城下町を活かす会・たけの町並み伝承会）、豊岡商工会議所、ひょうごヘリテージ機構 H20 但馬</p>
<p>今後の課題等</p>	<p>〈事業を実施する上での課題〉</p> <p>①団体（組織）の課題        結成して3年も経たない団体であり、会員数が少なく、また地元への認知度も大きくないため、広く周知することが必要。</p> <p>②地域の課題        住民の高齢化や商店主が郊外に居住するなど、町並みを守っていくために必要な条件が整わない。</p> <p>〈31年度以降の事業計画〉        豊岡まちなみ連盟でのまちなみゼミを巡回していくとともに、豊岡まち塾としても、町並み保護や研究に関するイベントを始めとする活動を推し進めていく。加えて、会員数の増加と充実を図る。</p>



H30年6月17日 Aコース：まち歩き



H30年6月17日 Bコース：廃川カヌー



H30年6月17日 基調講演：西村幸夫氏



H30年6月17日 ワークショップ